

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	人権行政企画調整費(一部)福岡市人権教育・啓発基本計画		
所管課	市民局人権部人権推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成16年度		平成16年度に策定した「福岡市人権教育・啓発基本計画」に基づく取組みを実効性のあるものとするため、4年毎に実施計画を策定するとともに、実施計画に基づき実施した事業について、総括的な点検・検証を行う。
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画		

基本計画				
施策コード	主	1-2-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進			
事業群	人権尊重のまちづくり			一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4年度:80%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」に位置づけられた事業
	対象をどのような状態にしたいのか	「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」に位置づけられた事業をより効果的、実効性のあるものにする。
事業目的		

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○「福岡市人権教育・啓発基本計画」の「実施計画」に基づき平成30年度に実施した人権教育・啓発事業について、その成果や課題等を事業所管課が自己評価。 ○これまでの点検・検証結果等を踏まえ、令和2年度から令和5年度の実施計画を策定。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	138
歳入	特定財源	0
	一般財源	138
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	35 721
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	35 721

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																																				
	<ul style="list-style-type: none"> ・4年毎に実施計画を策定する。 ・実施計画に基づき実施した各事業の成果と課題について、所管課が自己評価。 ・評価結果をとりまとめ、外部委員から意見を聴取し、総括的な点検・検証を行う。 ・最終的な点検・検証結果を公表・フィードバックする 	点検・検証結果を、所管課において次年度以降の取組みに反映させる。	「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」に基づく人権教育・啓発の事業がより効果的、実効性のあるものとなる。	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が増える。																																																																																				
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">実施事業評価の結果、一定の成果が得られたとした事業の割合</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">100.0</td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">99.0</td> <td style="text-align: center;">未調査</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">99.0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	実施事業評価の結果、一定の成果が得られたとした事業の割合	目標	100.0	100.0	100.0	R 年度	実績	99.0	未調査	-	達成率	99.0%	-	-		目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4:80%)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">70.0</td> <td style="text-align: center;">70.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">77.0</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">64.5</td> <td style="text-align: center;">64.7</td> <td style="text-align: center;">80.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">92.1%</td> <td style="text-align: center;">92.4%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4:80%)	目標	70.0	70.0	77.0	R4年度	実績	64.5	64.7	80.0	達成率	92.1%	92.4%	-		目標				R 年度		実績						達成率						
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																		
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																			
実施事業評価の結果、一定の成果が得られたとした事業の割合	目標	100.0	100.0	100.0	R 年度																																																																																			
	実績	99.0	未調査		-																																																																																			
	達成率	99.0%	-		-																																																																																			
	目標				R 年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																				
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																			
一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4:80%)	目標	70.0	70.0	77.0	R4年度																																																																																			
	実績	64.5	64.7		80.0																																																																																			
	達成率	92.1%	92.4%		-																																																																																			
	目標				R 年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名		事業区分	重点
人権行政企画調整費(一部)北朝鮮人権侵害問題啓発事業			
所管課	市民局人権部人権推進課	基本計画 施策コード 主 1-2-1 再 分野別目標 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている 施策 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進 事業群 人権尊重のまちづくり 施策成果指標 一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4年度:80%)	
開始年度	平成18年度		
根拠法令	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律		
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成18年度に拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律が施行され、地方公共団体の責務として、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民世論の啓発に努めるものとされた。		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか			事業費(千円)			
	市民		〇北朝鮮人権侵害問題啓発講演会を開催 〇拉致問題啓発映画上映会(市民対象及び中学生対象)を開催 〇本庁舎1階多目的スペースにて、拉致問題の実態や拉致被害者の写真などを展示したパネル展を開催 〇本庁舎東側壁面に横断幕を掲示 〇職員にブルーリボン及び啓発週間名札の着用を奨励 〇市政だより・ホームページ等に啓発記事を掲載 〇情報プラザ・区役所等に啓発ポスターを掲示 〇人権啓発ラジオ番組「こころのオルゴール」にて、拉致問題啓発シナリオ「短歌に込めた家族の祈り」を放送 〇テレビCMIによる啓発週間の周知	令和元年度決算額(見込額)					
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか	前年度決算額・翌年度予算額							
	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題について、市民の関心と認識を深める。								
					歳出合計			940	
		歳入	特定財源					246	
		歳入	一般財源						694
		年度		H30	R2				
		歳出合計			651			788	
		歳入	特定財源					273	
		歳入	一般財源						378
								567	

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」にあわせ、講演会等の各種啓発活動を実施する。	講演会等に市民が参加する。	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題について、市民の関心と認識が深まる。	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が高まる。		
活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
講演会等への参加者数	目標			R年度		
	実績	500	500			
	達成率	112.0%	190.0%	100	-	
	達成率					R年度
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	目標			R年度		
	実績	100.0	100.0			
拉致問題への理解・関心が深まった市民の割合(%)	実績	99.8	100.0	100.0		
	達成率	99.8%	100.0%			
	達成率					R年度

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	人権行政企画調整費(一部)人権尊重の視点に立った行政の全庁的な推進	
所管課	市民局人権部人権推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市職員に対し、これまで様々な人権研修を実施し、人権の重要性に関する理解は職員に根付いてきているが、人権は「特定の部署のみに関係するもの」と捉えがちであり、人権に対する理解を各自の具体的な職務の中に活かすことについては十分ではない面がある。
開始年度	平成21年度	
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-2-1	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4年度:80%)	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進			
事業群	人権尊重のまちづくり		施策成果指標	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市職員
	対象をどのような状態にしたいのか ・常に市民の人権を意識して業務に取り組むことが職員の共通理念となる。 ・全庁をあげて人権尊重の視点に立った行政を推進する。 ・行政運営の方向性と人権尊重の視点を持って自らの業務を進める。
事業目的	

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○新規採用職員に「人権尊重の視点に立った行政の推進に関する指針」(冊子)を配布。
	○課長級職員を対象とした「人権行政課長研修」, 全職員を対象とした「人権に関する職場研修」, 新規採用職員研修等, 様々な職員研修の場を利用して「人権尊重の視点に立った行政の推進に関する指針」の周知と理解の徹底を図った。
	令和元年4月, 10月, 12月 新規採用職員研修, 令和元年7月 人権啓発推進者研修, 令和元年11~12月 「人権」に関する職場研修
	○「性的マイノリティに関する庁内関係課連絡会議」の開催 令和2年1月
	○職員向け出前研修の実施 令和元年4月2回, 7月, 9月, 2月 ○庁内向け人権通信の発行

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		99
歳入	特定財源	0
	一般財源	99
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計		99 200
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	99 200

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	各職場研修や新規採用職員研修, 全職員を対象とした「人権に関する職場研修」を利用して、「人権尊重の視点に立った行政の推進に関する指針」の周知と理解の徹底を図る。	全職員の研修への参加により, 人権尊重の視点に立った行政の推進に係る指針の理解が深まる。	職員一人ひとりが, 常に市民の人権を意識して業務に取り組むことを職員共通の理念とし, 全庁をあげて人権尊重の視点に立った行政を推進する。	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が高まる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度
	目標	100.0	100.0	100.0	R 年度
	実績	100.0	100.0	-	R4年度
	達成率	100.0%	100.0%	-	80.0
	目標				R 年度
	実績				
	達成率				

成果の指標(KPI)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	職員一人ひとりが, 常に市民の人権を意識して業務に取り組むことを職員共通の理念とし, 全庁をあげて人権尊重の視点に立った行政を推進する。	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が高まる。			
	指標の内容	実績			
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	目標	70.0	70.0	77.0	R4年度
	実績	64.5	64.7	-	80.0
	達成率	92.1%	92.4%	-	-
	目標				R 年度
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	性的マイノリティ支援事業		
所管課	市民局人権部人権推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ・性的マイノリティが抱える課題解決のため、当事者や家族等が抱える困難に対する理解や支援の姿勢を明確化し、具体的な支援を行うことで、多様性を尊重する環境づくりを進めることが重要。 ・議会等から性的マイノリティへの支援について、諸施策を推進するよう要望。また、当事者団体からの、パートナーシップ制度を含む性的マイノリティ支援に関する要望書の提出。
開始年度	平成30年度		
根拠法令			
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画		

基本計画			
施策コード	主	1-2-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進		
事業群	人権尊重のまちづくり		

施策成果指標
 一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(令和4年度:80%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	性的マイノリティ当事者やその家族等を中心としたすべての市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・性的マイノリティ当事者やその家族等が抱える困難が解消され、当事者等が安心して自分らしく過ごすことができる。 ・社会全体において多様性を尊重する環境づくりが進む。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	「性的マイノリティに関する支援方針」に基づき、各取組を導入し、実施した。 ○パートナーシップ宣誓制度を実施。制度に関するリーフレットの配布。また、パートナーシップ宣誓制度の自治体間連携を開始。 ○性的マイノリティに関する基礎知識リーフレットを配布 ○専門相談電話を実施。 ○性的マイノリティ当事者及び家族や友人が悩みや情報を共有するための交流事業を実施。 ○市民の理解促進を図るため、性的マイノリティに関する講演会を実施。また、九州レインボープライドにブース出店し、各業等の各取組を周知。 ○職員に対し、局・部長級職員人権行政研修、人権啓発推進者研修、全職場人権研修を実施。 ○性的マイノリティに関する庁内関係課連絡会議を実施し、庁内関係課と情報共有。また、当事者団体との意見交換を実施。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,596
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,596
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	3,741 5,344
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	3,741 5,344

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	性的マイノリティに関する支援方針に基づく各取組を実施する。 ・支援事業(パートナーシップ宣誓制度の実施、専門相談電話の実施・周知、交流事業の実施・周知) ・啓発事業(講演会等の開催、研修の実施、啓発リーフレットの作成・配布、情報発信)	・性的マイノリティに関する市民や企業・団体の理解が進み、多様性を認め合う環境が醸成される。 ・パートナーシップ制度により、当事者の思いを受け止め、社会的理解が促進される。 ・専門相談電話や交流事業により、当事者等が安心して悩みを相談することができ、孤立を防ぐことができる。	性的マイノリティ当事者やその家族等が抱える困難が解消され、当事者等が安心して自分らしく過ごすことができる。 社会全体において多様性を尊重する環境づくりが進む。	すべての人の人権が尊重され、人の多様性を認め合う共生社会が実現する。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	80.0	80.0		R 年度
実績		88.3	93.7	80.0		
達成率		110.4%	117.1%		-	
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					
成果の指標(KPI)	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	70.0	70.0		R4年度	
	実績	64.5	64.7	77.0		
	達成率	92.1%	92.4%		80.0	
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名		事業区分	重点
人権啓発フェスティバル			
所管課	市民局人権部 人権啓発センター	基本計画 施策コード 主 1-2-1 再 分野別目標 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている 施策 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進 事業群 人権尊重のまちづくり 施策成果指標 ○一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合（令和4年度：80%）	
開始年度	平成10年		
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成6年に国連総会において、「人権教育のための国連10年」が決議され、平成11年に本市においても「人権教育のための国連10年福岡市行動計画」を策定し、市民ひとり一人の人権が真に尊重される福岡市の実現を目指している。		

【事業概要】

	対象	実施内容（手段）	事業費(千円)																											
対象	誰(何)を対象として行うのか 市民に対する人権意識の高揚	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ハートフルフェスタ福岡2019は、集客が期待できる天神地区のゼファ、西鉄ホールの2会場にて開催。 [ゼファ] ①ステージイベント(トークショーやコンサート等) ②市民参加型のワークショップ ③人権に関する団体の活動紹介ブース ④障がい者就労施設の物販 [西鉄ホール] ①講演会 ②性的マイノリティに関する映画上映 約20,000人が来場	令和元年度決算額(見込額)																											
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 人権啓発フェスティバル「ハートフルフェスタ福岡」は、「福岡市人権教育・啓発基本計画」の趣旨に基づき、市民一人ひとりが人権問題をつ自分自身の問題としてとらえ、日常的な人権感覚が身につけられるよう、また、関係機関・団体の交流・連携を図り相互理解が深められるよう開催し、人権意識の高揚を図る。		前年度決算額・翌年度予算額																											
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和元年度決算額(見込額)</th> </tr> <tr> <th>歳出合計</th> <td colspan="2">7,977</td> </tr> <tr> <th>歳入</th> <th>特定財源</th> <td>4,358</td> </tr> <tr> <th>一般財源</th> <td colspan="2">3,619</td> </tr> </thead> <thead> <tr> <th colspan="3">前年度決算額・翌年度予算額</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>歳出合計</th> <td>7,857</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <th>歳入</th> <th>特定財源</th> <td>2,630</td> </tr> <tr> <th>一般財源</th> <td>5,227</td> <td>4,078</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度決算額(見込額)			歳出合計	7,977		歳入	特定財源	4,358	一般財源	3,619		前年度決算額・翌年度予算額			年度	H30	R2	歳出合計	7,857	8,000	歳入	特定財源	2,630	一般財源	5,227	4,078
令和元年度決算額(見込額)																														
歳出合計	7,977																													
歳入	特定財源	4,358																												
一般財源	3,619																													
前年度決算額・翌年度予算額																														
年度	H30	R2																												
歳出合計	7,857	8,000																												
歳入	特定財源	2,630																												
一般財源	5,227	4,078																												

【ロジックモデル・指標の達成度】

	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)				②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	事業フロー(ロジックモデル)	・人権啓発フェスティバルを開催する。 ・人権啓発フェスティバルの周知を図る。 (ポスター・チラシ配布, ホームページ, 市政だより等)				・市民が人権啓発フェスティバルに参加する。 ・人権に関する団体や障がい者就労施設がフェスティバルに出展する。				・多くの市民が身近に人権問題に触れ、理解を深めることができる。 ・出展した団体の活動を発表する場となり、また、団体間の交流・連携が推進される。				・一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が増加する。		
活動の指標	指標の内容	年度	実績		目標											
	来場者数	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度											
	※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を縮小して講演会のみ実施	目標	20,000	20,000	R3年度											
		実績	7,200	20,000	450	20,000										
		達成率	36.0%	100.0%												
		目標				R年度										
		実績														
		達成率														
成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	実績		目標											
	来場者アンケート	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度											
	人権問題に「関心を持った」	目標	90.0	90.0	R3年度											
	「少し関心を持った」の合計	実績	88.4	90.4	90.0	90.0										
		達成率	98.2%	100.4%												
		目標				R年度										
		実績														
		達成率														

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	福岡マラソン開催	
所管課	市民局スポーツ事業課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市民から10万人を超える署名による開催要望があったため
開始年度	平成25年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画				事業区分 重点 施策成果指標 ○身近なスポーツ環境に対する満足度 (H34年度目標値:70.0%) ○スポーツ活動をする市民の割合 (H34年度目標値:60.0%)
施策コード	主	1-5-1		
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	スポーツ・レクリエーションの振興			
事業群	スポーツ・レクリエーション活動の促進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市民
	対象をどのような状態にしたいのか	スポーツを「する」「見る」「支える」人口を増加させる
事業目的		

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○福岡マラソン2019の開催
	・参加ランナーの募集(申込者数40,791人 ※2年連続4万人越え)
	・ボランティアの募集(延べ3,703人)
	・障がい者チャレンジ応援事業の実施(車いす競技申込者数21人 ※過去最多)
	・First Stepプロジェクトの実施(ファンランの申込者数3,119人 ※3年連続増加、福岡100関連事業)
・ぐるみ企画の実施(チーム戦開催、市民のSNS投稿促進)	
・コース沿道の地域住民や事業所への合意形成(交通規制の周知、応援依頼)	

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	101,600	
歳入	特定財源	10,850
	一般財源	90,750
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	100,348	100,539
歳入	特定財源	9,603 12,000
	一般財源	90,745 88,539

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	福岡マラソンの開催準備・開催運営を行う																																																																								
	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	○市民が福岡マラソンに「ランナー」や「ボランティア」として参加する ○コース沿道で多数の地域住民が応援する																																																																								
	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	身近な場所でスポーツに親しむことができ、市民スポーツの振興を推進する																																																																								
	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	○身近なスポーツ環境に対する満足度の増加 ○スポーツ活動をする市民の割合の増加																																																																								
	活動の指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">福岡・糸島市民枠の申込者数(地元先行抽選)</td> <td>目標</td> <td>12,700</td> <td>14,000</td> <td rowspan="2">14,000</td> <td rowspan="2">R3年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13,948</td> <td>14,006</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>109.8%</td> <td>100.0%</td> <td rowspan="2">R年度</td> <td rowspan="2">14,000</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	福岡・糸島市民枠の申込者数(地元先行抽選)	目標	12,700	14,000	14,000	R3年度	実績	13,948	14,006	達成率	109.8%	100.0%	R年度	14,000	目標			実績					達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">身近なスポーツ環境に対する満足度</td> <td>目標</td> <td>65.0</td> <td>65.0</td> <td rowspan="2">65.0</td> <td rowspan="2">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>58.8</td> <td>59.1</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>90.5%</td> <td>90.9%</td> <td rowspan="2">R4年度</td> <td rowspan="2">70.0</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>55.0</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>53.3</td> <td>55.4</td> <td rowspan="2">58.0</td> <td rowspan="2">60.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>96.9%</td> <td>100.7%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	身近なスポーツ環境に対する満足度	目標	65.0	65.0	65.0	R4年度	実績	58.8	59.1	達成率	90.5%	90.9%	R4年度	70.0	目標	55.0	55.0	実績	53.3	55.4	58.0	60.0	達成率	96.9%
指標の内容	年度	実績			目標																																																																					
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																					
福岡・糸島市民枠の申込者数(地元先行抽選)	目標	12,700	14,000	14,000	R3年度																																																																					
	実績	13,948	14,006																																																																							
	達成率	109.8%	100.0%	R年度	14,000																																																																					
	目標																																																																									
実績																																																																										
達成率																																																																										
指標の内容	年度	実績		目標																																																																						
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																					
身近なスポーツ環境に対する満足度	目標	65.0	65.0	65.0	R4年度																																																																					
	実績	58.8	59.1																																																																							
	達成率	90.5%	90.9%	R4年度	70.0																																																																					
	目標	55.0	55.0																																																																							
実績	53.3	55.4	58.0	60.0																																																																						
達成率	96.9%	100.7%																																																																								

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	共創自治協議会事業		
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成16年度		自治協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、市民と行政との共働によるまちづくりを推進するため
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	2-1-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの活性化		
施策成果指標	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合) (R4年度目標値:70%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	自治協議会
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	自治協議会と福岡市がパートナーとして、企業や商店街、NPO、大学など様々な主体を巻き込みながら、よりよい地域づくりに取り組む。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象団体 自治協議会151団体(令和元年度交付申請額:527,860千円) (1団体は、旧制度により補助) ○補助対象事業 (1)まちづくり基本事業 <ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心に関する事業(交通安全, 防災, 防犯) ②子どもに関する事業(子どもの健全育成・非行防止) ③環境に関する事業(環境美化, ごみ減量・リサイクル推進) ④健康に関する事業(健康づくり, 集団献血) ⑤スポーツに関する事業 ⑥男女共同参画に関する事業 (2)地域自らが発意・企画し、自主的に取り組むまちづくり活動

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	533,964
歳入	特定財源	1
	一般財源	533,963
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	520,756 537,893
歳入	特定財源	3 0
	一般財源	520,753 537,893

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会が行う住みよいまちをつくるために必要な事業に対して、補助金による助成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティにおいて、自律的な経営が行われ、「共創」の地域づくりが行われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の自治意識が向上し、自治組織の運営基盤強化・活性化が図られる。 ・企業や商店街、NPOなど様々な主体と協力することで「共創」の地域づくりが広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。 	
活動の指標	指標の内容	実績		目標	
		年度	H30年度	R1年度	R2年度
補助金の交付	目標		150 校区	151 校区	R 年度
	実績		150 校区	151 校区	-
	達成率		100.0%	100.0%	
	目標				R 年度
地域活動への参加率	目標				R4年度
	実績		49.7%	52.2%	-
	達成率		-	-	70%
	目標				R 年度
成果の指標(KPI)	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	地域デビュー応援事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 住民の自治意識や地域コミュニティへの帰属意識が希薄化し、地域コミュニティの維持が困難な状況となることが懸念されることから、自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような取組みを支援する。
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	2-1-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの活性化		

施策成果指標	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合) (R4年度目標値:70%)
--------	---

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	・自治会・町内会
	対象をどのような状態にしたいのか	自治会・町内会の加入・未加入にかかわらず、町内の幅広い世代の住民が気軽に楽しく自治会・町内会行事に参加することで、住民の自治意識の向上と地域活動への参画を促進する。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> ・各区地域支援課を通じて、地域デビュー応援事業の実施事業について、募集を行った。 ・令和元年度から、「防災」または「一人一花運動」の視点を加えて実施する取組みを、ステップアップ事業として、助成期間を延長した(4~6年目)。 ・令和元年度は、218件(1年目40件、2年目27件、3年目24件、4年目127年 ※1月末現在)の申請があった。 ・特色がある事業等を紹介するチラシを作成し、次年度の取組みの参考となるように、各地域に配布した。
----------	-------------------------------	---

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	27,139		
歳入	特定財源	1,633	
	一般財源	25,506	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	23,600	13,695	
歳入	特定財源	1,630	0
	一般財源	21,970	13,695

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・自治会・町内会が行う、自治会等への加入・未加入にかかわらず、町内の幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加できる住民同士の交流事業について、補助金による助成を行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・幅広い世代の住民が事業に参加し、住民相互の交流が行われる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・顔の見える関係づくりが進み、持続的な地域活動が可能になる。 ・地域住民の自治意識が向上し、地域活動への参加者が増加することにより、自治組織の運営基盤強化、地域活動の活性化が図られる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。																																																																														
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業実施団体数(累計)</td> <td>目標</td> <td>470</td> <td>490</td> <td rowspan="3">510</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>491</td> <td>533</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>104.5%</td> <td>108.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	事業実施団体数(累計)	目標	470	490	510	R 年度	実績	491	533	—	達成率	104.5%	108.8%			目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域活動への参加率</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>49.7%</td> <td>52.2%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域活動にデビューした人数(累計)</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>48,430</td> <td>56,502</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	地域活動への参加率	目標	—	—	—	R4年度	実績	49.7%	52.2%	70%	達成率	—	—		地域活動にデビューした人数(累計)	目標	—	—	—	R 年度	実績	48,430	56,502		達成率	—	—
指標の内容	年度	実績			目標																																																																													
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																													
事業実施団体数(累計)	目標	470	490	510	R 年度																																																																													
	実績	491	533		—																																																																													
	達成率	104.5%	108.8%																																																																															
	目標				R 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	
指標の内容	年度	実績		目標																																																																														
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																													
地域活動への参加率	目標	—	—	—	R4年度																																																																													
	実績	49.7%	52.2%		70%																																																																													
	達成率	—	—																																																																															
地域活動にデビューした人数(累計)	目標	—	—	—	R 年度																																																																													
	実績	48,430	56,502																																																																															
	達成率	—	—																																																																															

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分 重点

事業名	“ふくおか”地域の絆応援団事業		
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		地域活動を応援している企業や商店街等を登録・公表して地域との連携を進めるとともに、企業間及び地域と企業等の情報交換や交流の場を設け、共創の取組みの推進を図る。
根拠法令	なし		
行政計画	行政運営プラン		

基本計画			
施策コード	主	2-1-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの活性化		
施策成果指標	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合)		
	(R4年度目標値: 70%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	企業、商店街、NPO、大学など様々な主体
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	企業等が地域活動の新たな担い手として所在地の地域活動へ積極的に参加したり、従業員などの地域活動への参加を奨励、促進している。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	(1) 地域活動を応援している企業等を応援団として登録し、HP等で公表。
	(2) 地域活動応援で特に貢献度の高い企業等に対して感謝状を贈呈。
	(3) 応援団登録企業等からなる“ふくおか”地域の絆応援団評議会を設置し、地域活動を応援する企業等の取組みの普及・拡大や企業間、企業と地域などの交流の促進に向けた意見交換等の実施。
	(4) 応援団の取組みの輪を広げ、共創の取組みを推進することを目的に、地域活動を応援している企業等の事例発表等を行うセミナー・交流会を評議会との共催で開催(2回開催)。
	(5) “共創”自治協議会サミット内で、地域活動を応援している企業等のパネル展示を行うなど、応援団の取組みの輪を広げるための活動紹介。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	46
歳入	特定財源	0
	一般財源	46
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	48 467
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	48 467

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・応援団を募集し、企業等を登録・公表 ・貢献度の高い企業等に感謝状を贈呈 ・応援団評議会の開催 ・セミナー等による企業等の取組みの事例発表、交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・既に地域活動を応援する取組みを行っている企業等については意欲やモチベーションが高まる ・地域活動を応援する取組みを行っていない企業等については、他の企業等の取組み内容を知ることによって活動を始めるきっかけとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を応援する取組みを行う企業等の輪が広がり、地域活動への参加が増える。 ・それぞれの主体が持つ資源(人材、機材、知識、技術など)が地域活動に活かされる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。 			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		“ふくおか”地域の絆応援団登録数(累計)	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
			目標	-	-	200	R2年度
			実績	69	71	200	200
達成率			-	-	-	-	
目標		-	-	-	R年度		
実績	-	-	-	-			
達成率	-	-	-	-			
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
	地域活動への参加率	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
		目標	-	-	-	R4年度	
		実績	49.7%	52.2%	-	70%	
		達成率	-	-	-	-	
	目標	-	-	-	R年度		
実績	-	-	-	-			
達成率	-	-	-	-			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	共創の地域づくり推進事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 自治協議会と福岡市がパートナーとして、企業やNPOなど様々な主体をつなぐことで、地域の未来を共に創り出す「共創」の取組みを推進する。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	行政運営プラン	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	2-1-1	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合) (R4年度目標値:70%)	施策成果指標
	再			
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている			
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化			
事業群	地域コミュニティの活性化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・自治協議会、自治会・町内会、企業、商店街、NPO、大学などの様々な主体 ・市職員
	対象をどのような状態にしたいのか ・企業や商店街、NPO、大学などの様々な主体が、共創の地域づくりを担うプレーヤーとして、地域の活性化や課題解決に向けた活動に参加するようになり、自治協議会や自治会・町内会による持続的な地域活動が行われる。 ・本市職員が、自治協議会と福岡市がパートナーとして、「共創」の取組みを行うことの必要性を認識したうえで事業を実施する。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか (1)ふくか共創プロジェクト ・共創の地域づくりに関心を持つ様々な主体をつなぐための専門スタッフを配置。 ・新たな共創による取組みの創出 ・地域と企業等のつながりを促進する“ふくおか”地域の絆応援団セミナーの開催(2回実施) ・「地域デザイン学校」の開催(姪北校区) (2)共創による地域づくりアドバイザー派遣 自治会・町内会、自治協議会が行う研修等にアドバイザーを派遣。 (3)共創の地域づくりに向けた体制づくり 新規採用職員などに対して、共創の地域づくりについての研修を開催。 (4)市から地域への協力依頼等の見直し 市から地域へ協力依頼等を行っている事業の調査、見直しの依頼を実施。 (5)共創に向けた取組みの進行管理 「共創による地域づくり推進協議会」の開催。
----------	--

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	16,745		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	16,745	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	16,761		17,811
	特定財源	0	0
歳入	一般財源	16,761	17,811

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・共創の地域づくりに関心を持つ様々な主体をつなぐための専門スタッフを配置。 ・共創の取組みを推進するためのセミナー・ワークショップ等の開催 ・共創の地域づくりアドバイザーの派遣 ・市職員を対象とした研修の実施 ・市からの地域への協力依頼等の状況の把握、見直しの依頼 ・共創による地域づくり推進協議会の開催	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・共創の地域づくりを担う新たなプレーヤーが発掘される。 ・新たな共創の取組みが創出される。 ・市職員が、市が共創の主体者であるとともに、共創の取組みを支え、推進する組織であることを認識する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・企業、商店街、NPO、大学などの様々な主体が地域の活性化や課題解決に向けた活動に参加するようになる。 ・持続的な地域活動が可能となる。 ・市職員が、事業を実施するにあたり、地域のことを念頭に置くようになり、全庁的に共創の地域づくりに向けた施策・事業が行われる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。																																																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">共創コネクターによる地域や企業等からの相談受付件数(累計)</td> <td>目標</td> <td>100</td> <td>150</td> <td rowspan="3">200</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>105</td> <td>155</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>105.0%</td> <td>103.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">共創の取組みの推進に向けたワークショップ等の開催地域数</td> <td>目標</td> <td>3</td> <td>3</td> <td rowspan="3">3</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>66.7%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	共創コネクターによる地域や企業等からの相談受付件数(累計)	目標	100	150	200	R2年度	実績	105	155	200	達成率	105.0%	103.3%		共創の取組みの推進に向けたワークショップ等の開催地域数	目標	3	3	3	R年度	実績	3	2	-	達成率	100.0%	66.7%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">新たな共創の取組み数(累計)</td> <td>目標</td> <td>10</td> <td>15</td> <td rowspan="4">20</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>70.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	新たな共創の取組み数(累計)	目標	10	15	20	R2年度	実績	7	15	20	達成率	70.0%	100.0%		目標				R年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																										
H30年度		R1年度	R2年度		最終年度																																																																												
共創コネクターによる地域や企業等からの相談受付件数(累計)	目標	100	150	200	R2年度																																																																												
	実績	105	155		200																																																																												
	達成率	105.0%	103.3%																																																																														
共創の取組みの推進に向けたワークショップ等の開催地域数	目標	3	3	3	R年度																																																																												
	実績	3	2		-																																																																												
	達成率	100.0%	66.7%																																																																														
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																												
新たな共創の取組み数(累計)	目標	10	15	20	R2年度																																																																												
	実績	7	15		20																																																																												
	達成率	70.0%	100.0%																																																																														
	目標					R年度																																																																											
	実績																																																																																
	達成率																																																																																

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	地域の担い手パワーアップ事業		
所管課	市民局コミュニティ推進部公民館支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		「地域のまち・絆づくり検討委員会」からの提言を受け、既存の事業を見直し、地域活動の担い手の育成や、地域情報の発信など、より効果的にコミュニティ支援を行うため事業化。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	2-2-1	
	再	2-1-1	
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	公民館などを活用した活動の場づくり		
事業群	活動の場づくり		

施策成果指標
 公民館の利用率(年に1回以上公民館を利用した市民の割合)
 (H34年度目標値: 50%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	全市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	市民が地域活動の担い手となり、地域活動の場として公民館の利用が増え、地域コミュニティが活性化する。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	「学生がデザインする公民館事業」を統合しプログラムに追加。選択事業「公民館スマホ塾」と「ICT担い手づくりプログラム」の統合を行い、各公民館が地域の実情に応じて実施しやすいよう、リニューアルした以下の選択方式のプログラムで令和元年度も引き続き実施した。
	【必須】
	公民館の地域力応援プログラム
	【選択】
(1)ICT担い手づくりプログラム	
(2)地域の担い手づくりプログラム	
(3)学生がデザインする公民館プログラム	

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		10,758
歳入	特定財源	0
	一般財源	10,758
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	
歳出合計	8,314	10,220
歳入	特定財源	0
	一般財源	8,314

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 公民館職員自身がコミュニティ支援能力を高めるため、公民館の地域力応援プログラムにより能力向上を図る。 それぞれの地域の実情に応じた事業を検討し、メニューを選択し、実施計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館職員の能力が向上し、コミュニティ活動に効果的な支援が可能になる。 公民館に住民が集まるきっかけとなる事業の実施によって、公民館で地域住民の交流が図られる。 ワークショップなどで住民が地域課題などの知識を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の交流が図られ、地域活動に気軽に参加できるようになる。 地域課題が認識・共有され、解決のための具体的な活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動が活発化し、公民館利用率が向上する。 		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
	事業実施館数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	130	140		R4年度
実績		121	127	140		
達成率		93.1%	90.7%		140	
公民館の利用率	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	35.0	35.0		R4年度	
	実績	23.6	24.5	40.0		
	達成率	67.4%	70.0%		50.0	
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	NPOと行政による共働事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
	市民公益活動推進課	
開始年度	平成20年度	背景 地域課題が複雑化・多様化し、行政だけでは解決が困難となる中、地域社会における公共の担い手としてNPO等の活動が活発化。双方の相乗効果を生み出し地域課題の解決を目指す仕組みとして「共働事業提案制度」を創設。
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画		
施策コード	主	2-4-2
	再	
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている	
施策	NPO、ボランティア活動の活性化	
事業群	共働の推進	
施策成果指標	○共働事業提案制度提案数 (R2年度:10件)	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	NPO等, 市職員
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	地域課題の解決や市民サービスの向上等に向け、NPO等と行政が主体的に共働に取り組む状態。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	(1) 共働事業提案制度の実施 ○NPO等からの事業提案を、公開プレゼンテーションを経て採択(2事業) ○前年度の事業成果等を報告する「事業報告会」及び最終評価の実施(1事業) ○翌年度も事業継続を希望する事業の「中間評価」の実施(5事業) ○提案団体と市担当課とのマッチング支援(6件) ○提案を検討するNPO等向けに、共働の理解促進及びNPO等の発想の企画化をサポートする「提案サポートセミナー」を実施(全3回) ○多様な共働について理解を深める場として「共働カフェ」 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止 (2) 市職員を対象とした共働啓発研修の実施 ○「新規採用職員研修」「NPO現場体験研修」を実施

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		901
歳入	特定財源	0
	一般財源	901
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	687	1,179
歳入	特定財源	0
	一般財源	687

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ○NPO等の事業提案に対するサポートの実施 ○NPO等と行政のマッチング支援 ○提案審査・事業評価を実施 ○事業報告会や共働カフェ等を実施 ○市職員・NPO向け共働啓発研修等を実施	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ○実現可能な提案につながる。 ○共働の相乗効果が期待される事業が提案される。 ○審査や評価により、事業を振り返り、改善につなげることができる。 ○市民やNPO等、市職員が、事業の成果や、多様な主体との共働の進め方を知ることができる。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) ○課題解決に向けた事業にNPO等と行政が共働で取り組み、市民サービスの向上につながる。 ○課題解決や共働のノウハウが蓄積される。 ○市民やNPO等、市職員へ共働への理解が深まる。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) ○NPO等や行政が、共働事業提案制度を介さずとも、多様な主体と自発的に共働し、課題解決に取り組む。																																																																															
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">共働事業提案制度提案数</td> <td>目標</td> <td>8</td> <td>9</td> <td rowspan="3">10</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>37.5%</td> <td>22.2%</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">公開プレゼン・事業報告会・共働カフェのうち、参加者が定員の8割を超えた事業の数(発表者を除く)</td> <td>目標</td> <td>3</td> <td>3</td> <td rowspan="3">3</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>3</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R元年度	R2年度	最終年度	共働事業提案制度提案数	目標	8	9	10	R2年度	実績	3	2	10	達成率	37.5%	22.2%	10	公開プレゼン・事業報告会・共働カフェのうち、参加者が定員の8割を超えた事業の数(発表者を除く)	目標	3	3	3	R2年度	実績	0	0	3	達成率	0.0%	0.0%	3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">NPOと共働したことがある市職員の割合(隔年調査)</td> <td>目標</td> <td>37.0</td> <td></td> <td rowspan="3">41.0</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>34.3</td> <td></td> <td>41.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>92.7%</td> <td></td> <td>41.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R元年度	R2年度	最終年度	NPOと共働したことがある市職員の割合(隔年調査)	目標	37.0		41.0	R2年度	実績	34.3		41.0	達成率	92.7%		41.0		目標				R年度		実績						達成率				
	指標の内容	年度			実績		目標																																																																												
H30年度			R元年度	R2年度	最終年度																																																																														
共働事業提案制度提案数	目標	8	9	10	R2年度																																																																														
	実績	3	2		10																																																																														
	達成率	37.5%	22.2%		10																																																																														
公開プレゼン・事業報告会・共働カフェのうち、参加者が定員の8割を超えた事業の数(発表者を除く)	目標	3	3	3	R2年度																																																																														
	実績	0	0		3																																																																														
	達成率	0.0%	0.0%		3																																																																														
指標の内容	年度	実績		目標																																																																															
		H30年度	R元年度	R2年度	最終年度																																																																														
NPOと共働したことがある市職員の割合(隔年調査)	目標	37.0		41.0	R2年度																																																																														
	実績	34.3			41.0																																																																														
	達成率	92.7%			41.0																																																																														
	目標				R年度																																																																														
	実績																																																																																		
	達成率																																																																																		
	成果の指標(KPI)																																																																																		

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	防災先進都市づくり		
所管課	防災企画課, 地域防災課, 防災推進課 (旧: 防災・危機管理課)	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成30年度		平成28年熊本地震の教訓を踏まえ、地域防災計画を見直し、防災危機管理体制の強化を図ることとした。
根拠法令	災害対策基本法		
行政計画	地域防災計画		

基本計画				事業区分	重点
施策コード	主	3-1-1		施策成果指標	○地域の防災対策への評価 (令和4年度目標値:50%)
	再				
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている				
施策	災害に強いまちづくり				
事業群	防災・危機管理体制の強化				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	行政 市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	情報収集機能や市民への情報発信力の強化、防災先進都市を目指した行政・市民・企業が連携した取組みの充実、及び九州が一体となった防災先進地域づくりの推進など、防災・減災対策の強化を図る。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時における災害対策本部のあり方やより緊密な情報共有に向けたICT設備の導入など、災害対策本部機能の充実・強化に向けた調査検討業務委託を行った。 ・民間団体等との連携により、有事の際に速やかに連携できる関係づくりや新たなサービスの導入などの取組を実施した。 ・帰宅困難者について、エリア団体等と連携した対策を検討・協議した。 ・九州における相互支援の枠組みである「九州市長会における災害時相互支援プラン」に基づく被災地支援態勢を充実・強化するため、関係機関との会議や合同訓練、機能強化に関する検討等を実施した。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		16,789
歳入	特定財源	0
	一般財源	16,789
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
		R2
歳出合計	128,074	13,018
歳入	特定財源	88,031
	一般財源	40,043
		2,018

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT設備等の導入及びスペースの拡充等災害対策本部の基盤整備。 ・民間団体との災害時応援協定の締結 ・帰宅困難者のための退避施設確保, 誘導, 支援等をエリア団体等と対応策を協議 ・九州市長会防災部会市等との会議, 訓練, 機能強化に関する検討等 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集・共有のための設備や受援を可能とするための施設が整備される。 ・有事の際の受援体制の充実 ・帰宅困難者の安全の確保 ・九州各市が一体となった被災地支援の実施 	<p>災害対策本部において迅速な情報共有等が図られ、適切な災害対応が可能となる施設が整備され、受援体制が整うことにより、災害対応能力が向上する。</p>	<p>迅速・適切な災害対応により、災害発生時の被害を最小限に抑えられる。</p>																																																																										
	活動の指標	指標の内容	実績	目標																																																																										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標				R 年度	実績					達成率					目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>40.0%</td> <td>42.5%</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">45.0%</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>39.5</td> <td>38.1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">50.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.8%</td> <td>89.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標	40.0%	42.5%	45.0%	R4年度	実績	39.5	38.1	50.0%	達成率	98.8%	89.6%		目標				R 年度	実績					達成率			
年度	実績			目標																																																																										
	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																										
目標				R 年度																																																																										
実績																																																																														
達成率																																																																														
目標				R 年度																																																																										
実績																																																																														
達成率																																																																														
年度	実績		目標																																																																											
	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																										
目標	40.0%	42.5%	45.0%	R4年度																																																																										
実績	39.5	38.1		50.0%																																																																										
達成率	98.8%	89.6%																																																																												
目標				R 年度																																																																										
実績																																																																														
達成率																																																																														

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分 重点

事業名	公的備蓄	
所管課	市民局地域防災課 (旧:防災・危機管理課)	背景
開始年度	平成29年度	
根拠法令	災害対策基本法	
行政計画	地域防災計画	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		平成28年熊本地震の教訓を踏まえ、想定避難者等数の3日分となる27万食の食料と、避難所運営に必要な資機材を備蓄したことによる。

基本計画				
施策コード	主	3-1-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	災害に強いまちづくり			
事業群	防災・危機管理体制の強化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	国からの支援物資が届くまでの約3日間に必要な食料等が確保されている。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料について、新たな品目を追加した。 ・賞味期限が近づいた備蓄食料は、入れ替えを行うとともに、防災訓練や防災イベントでの配布等を通じて、市民への備蓄啓発用として有効活用した。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		47,317
歳入	特定財源	0
	一般財源	47,317
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	
歳出合計	25,610	49,933
歳入	特定財源	0
	一般財源	49,933

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	備蓄物資を一定数備える	国からの支援物資が届くまでの約3日間に必要な食料等が確保される	災害時に必要となる食料等が入手できる	発災時に食料等が不足する被災者が最小限となる		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標		
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	270,000	270,000	270,000	R 年度
	実績	270,000	270,000	270,000		
	達成率	100.0%	100.0%			
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	地域防災力の向上	
所管課	市民局地域防災課 (旧:防災・危機管理課)	背景
開始年度	平成7年度(自主防災組織の育成)	
根拠法令	災害対策基本法	
行政計画	地域防災計画	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か
災害対策基本法に、市町村長の責務として、自主防災組織等の充実、住民の自発的な防災活動の促進を図り、市町村の有する全ての機能を十分に発揮するよう努めることが定められている。そのため、自主防災組織の育成等、地域防災力向上の取り組みを始めた。		

基本計画		
施策コード	主 3-1-2 再	施策成果指標 ○自主防災活動への参加率 (令和4年度目標値:25%)
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
施策	災害に強いまちづくり	
事業群	地域防災力の強化	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・地域住民 ・校区自主防災組織、自治協議会 ・教職員、児童生徒 ・企業等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・自主防災組織、自治協議会が中心となり、地域の災害特性に応じた防災訓練を定期的実施し、災害時においても「自らの安全は自らが守る」ことを原則とした、災害対策がなされる。 ・学校教育の現場において児童生徒に対し、防災教育の推進が図れるようになる。 ・地域や企業における防災意識の向上。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・区役所や消防局と連携し、地域における防災訓練等の実施を支援。 ・避難所開設訓練(自主防災組織リーダー研修会)、「避難所運営ワークショップ」、出前講座による災害対応能力の向上、防災知識の普及。 ・「マンション防災・減災マニュアル」を活用した出前講座による、マンション居住者の防災力向上。 ・教職員を対象とした防災講習会の実施など防災教育の推進。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	16,179
歳入	特定財源	0
	一般財源	16,179
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	32,758 6,716
歳入	特定財源	1,475 0
	一般財源	31,283 6,716

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)		①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
		・「避難所開設訓練」(自主防災組織リーダー研修会) ・「避難所運営ワークショップ」、出前講座の実施	・自主防災組織や地域住民が「避難所開設訓練」に参加する。 ・出前講座により、様々な立場の市民へ防災意識の啓発ができる。	・自主防災組織等の災害対応能力が向上する。 ・地域住民の防災意識が高まる。 ・避難所運営における住民の自主運営が可能となる。	・災害発生時の人的被害を最小限に抑えられる。 ・避難所運営にかかる職員の負担が減り、復旧復興に専念できる。	
	活動の指標	指標の内容	実績		目標	
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	150	150	150	R3年度
	出前講座の実施回数	実績	205	138	150	150
		達成率	136.7%	92.0%		
		目標				R 年度
		実績				
		達成率				

成果の指標(KPI)		③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
		・自主防災組織等の災害対応能力が向上する。 ・地域住民の防災意識が高まる。 ・避難所運営における住民の自主運営が可能となる。	・災害発生時の人的被害を最小限に抑えられる。 ・避難所運営にかかる職員の負担が減り、復旧復興に専念できる。			
	成果の指標	指標の内容	実績			
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	437	440	450	R3年度
	地域における自主防災組織等の訓練実施回数	実績	438	470	450	450
		達成率	100.2%	106.8%		
		目標				R 年度
		実績				
		達成率				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	「避難所サポートチーム・福岡」養成事業		
所管課	市民局地域防災課 (旧:防災・危機管理課)	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成29年度		平成28年熊本地震の教訓を踏まえ、住民による円滑な避難所運営を支援し、行政職員が復旧・復興に集中できるように自助共助の力を高める取り組みとして、避難所運営を支援するエキスパートを養成する。
根拠法令	災害対策基本法		
行政計画	地域防災計画		

基本計画				
施策コード	主	3-1-2		施策成果指標 ○地域の防災対策への評価 (令和4年度目標値:50%)
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	災害に強いまちづくり			
事業群	地域防災力の強化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・「博多あん・あんリーダー会」会員 (「博多あん・あん塾」修了者である防災士)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・大規模災害時、福岡市内だけでなく市外においても、避難所運営を支援する災害ボランティア「避難所サポートチーム・福岡」メンバーとなる。 ・避難所において、あくまでも地域住民が主体となった運営を促進するサポート役としての知識・見識・技術を身に付ける。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○養成講座第5期を実施 第5期 10/20, 11/30実施 14名養成 合計 94名養成(1~5期) ○フォローアップ研修を実施 6/16 1~4期修了者 51名参加 ○各区で実施した「避難所運営ワークショップ」においてグループワーク時の講師として、住民へ避難所運営について指導。 (R1年度「避難所運営ワークショップ」8校区で実施)

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
	歳出合計	810	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	810	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
	歳出合計	970	1,184
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	970	1,184

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・「避難所サポートチーム・福岡」の育成として、修了者へのフォローアップ研修の実施。 ・避難所運営に関する講習会、講師等における訓練。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・「避難所サポートチーム・福岡」メンバーの確保とスキルの維持向上により、災害時の活動体制が確保できる。 ・メンバーの活動意欲の増進。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・大規模災害時の活動能力が向上する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・サポートチームの支援により、住民による円滑な避難所運営ができるようになり、職員が復旧復興に専念できるようなる。																																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「避難所サポートチーム・福岡」の登録人数</td> <td>目標</td> <td>105</td> <td>110</td> <td></td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>80</td> <td>94</td> <td>94</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>76.2%</td> <td>85.5%</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	「避難所サポートチーム・福岡」の登録人数	目標	105	110		R3年度	実績	80	94	94		達成率	76.2%	85.5%		94		目標				R年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度		目標				R4年度	実績					達成率						目標				R年度		実績						達成率			
指標の内容	実績			目標																																																																																							
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																						
「避難所サポートチーム・福岡」の登録人数	目標	105	110		R3年度																																																																																						
	実績	80	94	94																																																																																							
	達成率	76.2%	85.5%		94																																																																																						
	目標				R年度																																																																																						
	実績																																																																																										
	達成率																																																																																										
指標の内容	実績			目標																																																																																							
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																						
	目標				R4年度																																																																																						
	実績																																																																																										
	達成率																																																																																										
	目標				R年度																																																																																						
	実績																																																																																										
	達成率																																																																																										

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分		重点
事業名	避難行動要支援者の避難支援対策	
所管課	市民局地域防災課 (旧:防災・危機管理課)	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 東日本大震災の教訓を踏まえた平成25年度の災害対策基本法の改正により、災害時に自ら避難することが困難な者を登録する避難行動要支援者名簿の作成が市町村長に義務付けられたことによる。
開始年度	平成25年度	
根拠法令	災害対策基本法	
行政計画	地域防災計画	
施策コード	主 3-1-2 再	
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
施策	災害に強いまちづくり	
事業群	地域防災力の強化	
施策成果指標	避難行動要支援者名簿が活用されている地域の割合 令和4年度:100%	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 避難行動要支援者 避難支援等関係者(自治協議会, 社会福祉協議会, 民生委員・児童委員)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 【避難行動要支援者】 災害時に避難支援等関係者等による円滑な避難支援等が受けられるようにする 【避難支援等関係者】 災害時に避難行動要支援者への円滑な避難支援等が行えるようにする

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・本人の同意の有無に関わらず要支援者全員を登録した「全体名簿」と、全体名簿に登録された者のうち、名簿情報の提供に同意した者を登録した「同意者名簿」を作成、「同意者名簿」を避難支援等関係者に提供した。 ・名簿情報の提供にかかる意向確認に回答が得られていない者に対し、再度の意向確認を行った。 ・「個別避難支援計画策定促進事業」を1校区で実施し、避難支援等関係者による個別計画の策定支援を行った。 ・出前講座等により、避難行動要支援者支援制度の周知を図った。
-----------------	---

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		7,618
歳入	特定財源	0
	一般財源	7,618
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	2,485	6,542
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,485
		6,542

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・避難行動要支援者支援制度の周知 ・避難行動要支援者名簿(全体名簿・同意者名簿)の作成 ・同意者名簿の避難支援等関係者への提供	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ・避難支援等関係者が、当該地域の要支援者を把握し、平常時からの見守り活動や防災訓練に活用する。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) 避難支援等関係者による要支援者への災害時の避難支援等が円滑に実施される体制が整う。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) 災害時の人的被害が最小限に抑えられる。																																																																																		
	→	→	→																																																																																			
	→	→	→																																																																																			
	→	→	→																																																																																			
	→	→	→																																																																																			
活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">避難行動要支援者支援制度にかかる出前講座の実施回数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">40.0%</td> <td style="text-align: center;">50.0%</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	避難行動要支援者支援制度にかかる出前講座の実施回数	目標	20	20	20	R2年度	実績	8	10	20	達成率	40.0%	50.0%	20		目標				R年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">避難行動要支援者名簿(同意者名簿)を提供した校区・地区数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">151</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">151</td> <td style="text-align: center;">R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">149</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">151</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">99.3%</td> <td style="text-align: center;">99.3%</td> <td style="text-align: center;">151</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	避難行動要支援者名簿(同意者名簿)を提供した校区・地区数	目標	150	151	151	R2年度	実績	149	150	151	達成率	99.3%	99.3%	151		目標				R年度		実績						達成率				
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																	
避難行動要支援者支援制度にかかる出前講座の実施回数	目標	20	20	20	R2年度																																																																																	
	実績	8	10		20																																																																																	
	達成率	40.0%	50.0%		20																																																																																	
	目標				R年度																																																																																	
	実績																																																																																					
	達成率																																																																																					
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																		
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																	
避難行動要支援者名簿(同意者名簿)を提供した校区・地区数	目標	150	151	151	R2年度																																																																																	
	実績	149	150		151																																																																																	
	達成率	99.3%	99.3%		151																																																																																	
	目標				R年度																																																																																	
	実績																																																																																					
	達成率																																																																																					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	自転車安全利用推進事業	
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景 自転車は、幅広い年齢層において、買物、通勤・通学、レジャーなど、多様な用途で利用され、環境負荷の軽減、交通渋滞緩和や健康増進等の観点からも、今後、ますますその利用が促進されることが予測されているが、近年、自転車利用者の交通ルール・マナー違反等により、自転車に関連する事故が多発し、重大事故に陥る可能性の高い歩行者を巻き込んだ事故件数は増加傾向にあり、安全利用の啓発が重要となっている。
開始年度	平成22年度	
根拠法令	福岡市自転車の安全利用に関する条例	
行政計画	福岡市交通安全計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	3-4-1	第10次福岡市交通安全計画(2016～2020年度) 2020年までに自転車事故発生件数2,100件以下	
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり			
事業群	安全で適正な自転車利用			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	自転車を利用する市民等
	対象をどのような状態にしたいのか	自転車に関連する事故の防止を図り、本市における交通安全の確保を図る
事業目的		

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○自転車安全利用に関する出前講座の開催
	○自転車安全利用推進員講習会の開催、自転車安全利用推進員の啓発活動への支援
	○モラル・マナー推進員による天神地区を中心とした自転車安全利用の巡回指導、啓発
	○自転車事故を疑似体験できるVR(バーチャル・リアリティ)動画を活用した体験型自転車教室の開催
	○エリアマネジメント団体を通じた都心部への自転車通勤者に対する出前講座開催の働きかけ
	○毎月8日の自転車安全利用の日における自転車安全利用キャンペーンの実施
○アビスパ福岡公式試合における自転車安全利用の広報啓発	

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	7,288	
歳入	特定財源	716
	一般財源	6,572
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	8,756	7,896
歳入	特定財源	678 797
	一般財源	8,078 7,099

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																						
	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座(自転車安全利用) 自転車安全利用推進員講習会の開催 自転車安全利用推進員連絡会の開催 モラル・マナー推進員による指導・啓発 自転車安全利用推進員の活動支援 体験型自転車教室の開催 自転車通勤者に対する出前講座開催の働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車教室、出前講座を受講した人が増える。 自転車安全利用の理解が進む。 自転車安全利用推進員が増える。 	<p>自転車利用者のマナーが向上する。</p>	<p>自転車利用者の交通ルール・マナー違反等による歩道上で歩行者を巻き込んだ自転車事故が減少する。</p>																																																																						
	指標の内容	実績	目標	実績	目標																																																																					
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>300</td> <td>300</td> <td></td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>90</td> <td>中止</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>30.0%</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標	300	300		R2年度	実績	90	中止	300	300	達成率	30.0%	-			目標				R年度	実績					達成率							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度(H30年)</th> <th>R1年度(R1年)</th> <th>R2年度(R2年)</th> <th>最終年度(年)</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>90</td> <td>90</td> <td></td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>143</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>61.1%</td> <td>66.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2,200</td> <td>2,100</td> <td></td> <td>R2年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,859</td> <td>1,770</td> <td>2,100</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>118.3%</td> <td>118.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H30年度(H30年)	R1年度(R1年)	R2年度(R2年)	最終年度(年)	目標	90	90		R2年度	実績	55	60	143	143	達成率	61.1%	66.7%			目標	2,200	2,100		R2年	実績	1,859	1,770	2,100	2,100	達成率	118.3%	118.6%	
年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																						
目標	300	300		R2年度																																																																						
実績	90	中止	300	300																																																																						
達成率	30.0%	-																																																																								
目標				R年度																																																																						
実績																																																																										
達成率																																																																										
年度	H30年度(H30年)	R1年度(R1年)	R2年度(R2年)	最終年度(年)																																																																						
目標	90	90		R2年度																																																																						
実績	55	60	143	143																																																																						
達成率	61.1%	66.7%																																																																								
目標	2,200	2,100		R2年																																																																						
実績	1,859	1,770	2,100	2,100																																																																						
達成率	118.3%	118.6%																																																																								

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	モラル・マナー向上市民啓発事業	
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か ボランティア団体、事業者、エリアマネジメント団体、行政等が一体となり、モラル・マナーに関する施策を広く周知し、多くの者が参加できるような取り組みを実施するため。 (昭和63年度「見つめて福岡モラル・マナー向上市民運動本部」、平成19年度「ふくおか安全安心よかまち運動」、平成24年度「モラル・マナー向上市民運動」)
開始年度	平成19年度	
根拠法令	人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	3-4-2	市民のマナーに対する満足度(2022年度目標:60%)	
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり			
事業群	モラル・マナーの向上			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	福岡市内に居住、滞在または福岡市内を通過する人
	対象をどのような状態にしたいのか	誰もがルールやマナーを遵守し、それに対し高い満足度が得られる状態の実現を図る。
事業目的		

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	○「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」の広報啓発 ○モラル・マナー向上推進本部の運営 ○市民、ボランティア団体、事業者等と連携し、各局が行う、モラル・マナー向上のための様々なキャンペーンやイベントを「モラル・マナー向上市民運動」(10月1日)として展開 ○モラル・マナー推進員による歩行喫煙防止等の巡回指導、啓発 ○地域及び事業者団体等との共働による歩行喫煙防止広報・啓発活動 ○6か国語ラジオ放送によるモラル・マナー向上の広報啓発

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		40,401	
歳入	特定財源	4,084	
	一般財源	36,317	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計		65,931	43,339
歳入	特定財源	3,897	4,483
	一般財源	62,034	38,856

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																		
	・モラル・マナー推進員による自転車安全利用、歩行喫煙防止等の指導・啓発の実施 ・モラル・マナー向上に関する広報啓発の実施 ・モラル・マナー向上キャンペーンの実施	・自転車走行マナーの向上 ・歩行喫煙率の低下	市民がモラル・マナー向上のための主体的行動を実施	市民のマナーに対する満足度が向上																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">路上禁煙地区内の歩行喫煙者指導件数</td> <td>目標</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td rowspan="3">2,500</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5,446</td> <td>2,896</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>110.2%</td> <td>48.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	路上禁煙地区内の歩行喫煙者指導件数	目標	6,000	6,000	2,500	R 年度	実績	5,446	2,896	-	達成率	110.2%	48.3%			目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市民のマナーに対する満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>50.0%</td> <td>52.5%</td> <td rowspan="3">55.0%</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>44.8%</td> <td>40.8%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>89.6%</td> <td>77.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	市民のマナーに対する満足度(%)	目標	50.0%	52.5%	55.0%	R4年度	実績	44.8%	40.8%	60.0%	達成率	89.6%	77.7%			目標				R 年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																															
H30年度		R1年度	R2年度		最終年度																																																																																	
路上禁煙地区内の歩行喫煙者指導件数	目標	6,000	6,000	2,500	R 年度																																																																																	
	実績	5,446	2,896		-																																																																																	
	達成率	110.2%	48.3%																																																																																			
	目標				R 年度																																																																																	
	実績																																																																																					
	達成率																																																																																					
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																		
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																	
市民のマナーに対する満足度(%)	目標	50.0%	52.5%	55.0%	R4年度																																																																																	
	実績	44.8%	40.8%		60.0%																																																																																	
	達成率	89.6%	77.7%																																																																																			
	目標				R 年度																																																																																	
	実績																																																																																					
	達成率																																																																																					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名		事業区分	重点
地域防犯力強化事業			
所管課	市民局生活安全部生活安全課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か パトロール活動などの支援を行うことにより、地域の防犯力強化を推進するため。	
開始年度	平成18年度		
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン		
		基本計画	
施策コード	主 3-5-1	施策成果指標 ○犯罪の少なさに対する満足度(2022年度目標値:50%) ○刑法犯認知件数(2022年目標値:15,000件以下)	
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか		事業費(千円)																																
	地域、市民		○パトカー走って安全隊事業(平成18年度開始) 使用期間の満了した庁用軽自動車を要望のある校区自治協議会等へ車検整備後、無償で譲渡する。(令和元年度譲渡台数:5台) ○地域防犯パトロールカー支援事業(平成22年度開始) 地域防犯パトロールに使用されている車両で、白黒塗装かつ青色回転灯装備車について、車検代関連費用(上限10万円)を補助する。(令和元年度補助台数:40台) ○地域防犯パトロールカーガソリン代助成制度(平成26年度開始) 地域防犯パトロールに使用されている青色回転灯を装備した車両について、新規運用開始月から2年間のガソリン代を年間3万円を上限として助成する。 ○生活安全専門員による各種防犯施策の実施(平成24年度開始) ○落書き消し活動の支援(平成27年度開始) ○「新大学生防犯強化月間(4~5月)」(平成27年度開始)及び「福岡市防犯強化月間(8月)」(平成28年度開始)を通じた取組みの推進	令和元年度決算額(見込額)																																	
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか				前年度決算額・翌年度予算額																																
	安全で安心して暮らせるまち				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">歳入</td> <td style="text-align: center;">歳出合計</td> <td></td> <td>24,569</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特定財源</td> <td></td> <td>2,220</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">歳入</td> <td style="text-align: center;">一般財源</td> <td></td> <td>22,349</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歳出合計</td> <td></td> <td>24,135</td> <td>24,739</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">歳入</td> <td style="text-align: center;">特定財源</td> <td></td> <td>2,215</td> <td>2,220</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一般財源</td> <td></td> <td>21,920</td> <td>22,519</td> </tr> </tbody> </table>				年度	H30	R2	歳入	歳出合計		24,569		特定財源		2,220		歳入	一般財源		22,349		歳出合計		24,135	24,739	歳入	特定財源		2,215	2,220	一般財源		21,920
		年度	H30	R2																																	
歳入	歳出合計		24,569																																		
	特定財源		2,220																																		
歳入	一般財源		22,349																																		
	歳出合計		24,135	24,739																																	
歳入	特定財源		2,215	2,220																																	
	一般財源		21,920	22,519																																	

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																															
	庁用車の譲渡・車検代関連費用の補助金制度・ガソリン代助成制度等について、区役所を通じて地域へ周知するとともに、「福岡市防犯強化月間」を通じて、市民が防犯活動に参加するきっかけづくりを推進する。	・地域防犯パトロール車両の増加 ・「福岡市防犯強化月間」に地域の实情に応じて防犯活動が行われる。	市内に地域防犯パトロールカーが多数運行するなど地域の防犯意識が向上するとともに犯罪の抑止効果が高まる。	犯罪発生件数が減少するなど、市民の安全が確保され安心感が向上する。																																																																															
	活動の指標	実績		目標																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">パトロールカー導入校区・地区数</td> <td>目標</td> <td>149</td> <td>151</td> <td rowspan="2">151</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>104</td> <td>104</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>69.8%</td> <td>68.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	パトロールカー導入校区・地区数	目標	149	151	151	2020年度	実績	104	104	151	達成率	69.8%	68.9%				目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度(H30年)</th> <th>R1年度(R1年)</th> <th>R2年度(R2年)</th> <th>最終年度(最終年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">犯罪の少なさに対する満足度</td> <td>目標</td> <td>45.0%</td> <td>50.0%</td> <td rowspan="2">50.0%</td> <td>2022年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>34.1%</td> <td>36.5%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>75.8%</td> <td>73.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">刑法犯認知件数(暦年)</td> <td>目標</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td rowspan="2">17,000</td> <td>2022年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>14,916</td> <td>14,043</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>120.7%</td> <td>128.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		指標の内容	年度	実績		目標		H30年度(H30年)	R1年度(R1年)	R2年度(R2年)	最終年度(最終年)	犯罪の少なさに対する満足度	目標	45.0%	50.0%	50.0%	2022年度	実績	34.1%	36.5%	50.0%	達成率	75.8%	73.0%			刑法犯認知件数(暦年)	目標	18,000	18,000	17,000	2022年	実績	14,916	14,043	15,000	達成率	120.7%	128.2%	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																													
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																														
パトロールカー導入校区・地区数	目標	149	151	151	2020年度																																																																														
	実績	104	104		151																																																																														
	達成率	69.8%	68.9%																																																																																
	目標				R 年度																																																																														
	実績																																																																																		
	達成率																																																																																		
指標の内容	年度	実績		目標																																																																															
		H30年度(H30年)	R1年度(R1年)	R2年度(R2年)	最終年度(最終年)																																																																														
犯罪の少なさに対する満足度	目標	45.0%	50.0%	50.0%	2022年度																																																																														
	実績	34.1%	36.5%		50.0%																																																																														
	達成率	75.8%	73.0%																																																																																
刑法犯認知件数(暦年)	目標	18,000	18,000	17,000	2022年																																																																														
	実績	14,916	14,043		15,000																																																																														
	達成率	120.7%	128.2%																																																																																

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	子ども・女性安全対策事業		
所管課	市民局生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡市内における、性犯罪(強制わいせつ・強制性交等)の認知件数は、政令指定都市のなかでワースト上位で推移している。
開始年度	平成24年度		
根拠法令	福岡市犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進条例		
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン		

基本計画			
施策コード	主	3-5-1	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化		
施策成果指標	○犯罪の少なさに対する満足度(2022年度目標値:50%)		
	○刑法犯認知件数(2022年目標値:15,000件以下)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	子ども・女性
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	性犯罪は「魂の殺人」と言われるほど深刻な被害を女性に及ぼすため被害防止に積極的に取り組む必要がある。また、子どもに危害を与える犯罪や不審な人物からの声かけや付きまとい事案から、子どもを守る。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○子ども・女性の犯罪被害防止に関する出前講座の実施
	○福岡市営地下鉄における構内アナウンスの実施
	○大学生等に対する啓発メールの配信等
	○性犯罪被害防止キャンペーンの実施(SNSの活用など)
	○安全安心少年隊(7団体)に対する活動支援の実施 ○性暴力被害者支援センター・ふくおかにおける相談支援

事業費(千円)		
R1年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,045
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,045
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	4,343 4,795
歳入	特定財源	0 800
	一般財源	4,343 3,995

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																															
	・啓発活動の推進	・性犯罪防止教育受講者が増加する。 ・安全教育を受けた子どもが増える。	・女性や子どもの防犯意識が向上する。	・性犯罪被害者が減少する。 ・子どもの犯罪被害が減少する。																																																																															
	活動の指標	指標の内容	指標の内容	指標の内容																																																																															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度(1末)</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">性犯罪防止出前講座受講者数</td> <td>目標</td> <td>3,550</td> <td>3,700</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">38,000</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4,355</td> <td>1,692</td> <td>3,800</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>122.7%</td> <td>45.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		年度	実績		目標		H30年度	R1年度(1末)	R2年度	最終年度	性犯罪防止出前講座受講者数	目標	3,550	3,700	38,000	2020年度	実績	4,355	1,692	3,800	達成率	122.7%	45.7%			目標				R年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年</th> <th>R1年</th> <th>R2年</th> <th>最終年</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">性犯罪認知件数</td> <td>目標</td> <td>140</td> <td>140</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">120</td> <td>R年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>157</td> <td>121</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>89.2%</td> <td>115.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">刑法犯認知件数</td> <td>目標</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">17,000</td> <td>2022年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>14,916</td> <td>14,043</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>120.7%</td> <td>128.2%</td> <td></td> </tr> </table>		年度	実績		目標		H30年	R1年	R2年	最終年	性犯罪認知件数	目標	140	140	120	R年	実績	157	121	-	達成率	89.2%	115.7%		刑法犯認知件数	目標	18,000	18,000	17,000	2022年	実績	14,916	14,043	15,000	達成率	120.7%	128.2%	
		年度			実績		目標																																																																												
H30年度			R1年度(1末)	R2年度	最終年度																																																																														
性犯罪防止出前講座受講者数	目標	3,550	3,700	38,000	2020年度																																																																														
	実績	4,355	1,692		3,800																																																																														
	達成率	122.7%	45.7%																																																																																
	目標				R年度																																																																														
	実績																																																																																		
	達成率																																																																																		
	年度	実績		目標																																																																															
		H30年	R1年	R2年	最終年																																																																														
性犯罪認知件数	目標	140	140	120	R年																																																																														
	実績	157	121		-																																																																														
	達成率	89.2%	115.7%																																																																																
刑法犯認知件数	目標	18,000	18,000	17,000	2022年																																																																														
	実績	14,916	14,043		15,000																																																																														
	達成率	120.7%	128.2%																																																																																

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	街頭防犯カメラ設置補助事業	
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成23年の人口千人当たりの認知件数が政令指定都市でワースト3位。特に街頭で発生しているオートバイ盗、自転車盗、強制わいせつなどの犯罪が上位を占めている。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	3-5-2	○犯罪の少なさに対する満足度(2022年度目標値:50%) ○刑法犯認知件数(2022年目標値:15,000件以下)	
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり			
事業群	犯罪が発生しにくい環境づくり			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	自治協議会及び自治会・町内会等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	それぞれの地域において、防犯パトロールの実施や街頭防犯カメラの設置など犯罪の起きにくい環境づくりが実現している状態

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	自治協議会、自治会・町内会等が防犯カメラを設置する際の、防犯カメラの機器購入費及び設置工事費等の75%以内を補助 <上限額> ・自立柱(ポール)を建設のうえ、防犯カメラを設置する場合 ：1台につき250,000円 ・上記以外：1台につき200,000円 ただし、当該年度内に『同一自立柱(ポール)若しくは同一物件』に複数の防犯カメラを設置する場合、2台目以降については、1台につき100,000円を限度

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	28,636	
歳入	特定財源	0
	一般財源	28,636
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	18,966	30,991
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	18,966 30,991

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・街頭防犯カメラの購入・設置等に係る費用を一部助成する。 ・設置校区の公表及びPRを行う。	・自治協議会及び自治会・町内会等による街頭防犯カメラの設置が普及促進される。	・各地域の必要に応じて街頭防犯カメラが設置され、犯罪の起きにくい環境が実現される。	・犯罪が減少するなど市民の安全が確保され、安心感が向上する。		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	107	168	165	R年度
実績		108	158	-		
達成率		100.9%	94.0%			
指標の内容	実績		目標			
成果の指標(KPI)	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	45.0%	50.0%	50.0%	R4年度	
	実績	34.1%	36.5%		50.0%	
	達成率	75.8%	73.0%			
指標の内容	実績		目標			
犯罪の少なさに対する満足度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	18,000	18,000	18,000	R4年	
	実績	14,916	14,043		15,000	
達成率	120.7%	128.2%				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分 重点

事業名	暴力団事務所撤去運動支援事業		
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	昭和40年度		近年、暴力団追放の気運が高まり、暴力団排除活動の推進及び暴力団事務所撤去の早期実現を図るため。(福岡県において平成25年6月に、市町村が実施する暴力団事務所撤去運動への支援事業に関する補助制度が創設。)
根拠法令	福岡市暴力団排除条例		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	3-5-3	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	暴力団排除対策の推進		
施策成果指標	○犯罪の少なさに対する満足度(2022年度目標値:50%) ○刑法犯認知件数(2022年目標値:15,000件以下)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	暴力団事務所撤去運動を行う地域・団体
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	暴力団排除活動を推進する地域、団体への経済的支援

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	補助申請の実績なし

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		0
歳入	特定財源	0
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	
歳出合計	0	500
歳入	特定財源	0
	一般財源	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	・暴力団事務所撤去活動の支援。	・暴力団排除活動の推進及び暴力団事務所撤去の早期実現が図られる。	・暴力団が、社会経済活動の場から排除される。 ・行政、地域が一体となって暴力団排除に取り組む体制が構築される。	・暴力団事務所がなくなり、犯罪発生件数が減少するなど、安全で住みよいまちづくりが実現する。
	活動の指標	指標の内容	指標の内容	指標の内容
		年度	年度	年度
		H30年度	R1年度	R2年度
	R 年度	R 年度	R 年度	
	目標	実績	目標	
	H30年度	R1年度	R2年度	
	R 年度	R 年度	R 年度	
	目標	実績	目標	
	H30年度	R1年度	R2年度	
	R 年度	R 年度	R 年度	
	達成率	達成率	達成率	
	0.0%	0.0%	50.0%	
	1	1	50.0%	
	0	0	34.1%	
	-	1	75.8%	
	-	-	73.0%	

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	飲酒運転撲滅対策事業		
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		飲酒運転の撲滅を本市の特に重要な施策として位置づけ、関係機関・団体と連携し、飲酒運転の撲滅(ゼロ)に向けた広報啓発活動をより積極的に推進するため。
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市交通安全計画		

基本計画				
施策コード	主	3-5-4		施策成果指標 なし
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり			
事業群	飲酒運転撲滅への取組み			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地域、学校、企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	地域や事業者が行う飲酒運転撲滅の取組みを促進するとともに、積極的な広報啓発を行うことにより、飲酒運転撲滅の気運を一層高め、飲酒運転の撲滅(ゼロ)を目指す。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い」等の開催
	○飲酒運転ゼロを誓う「折り鶴プロジェクト」の実施
	○関係機関・団体、地域等と連携した飲酒運転撲滅キャンペーン等の開催
	○「飲酒運転撲滅宣言の店」や飲酒運転撲滅ポスター掲示協力店の拡大
	○各種広報媒体を活用した広報啓発の実施
○県や交通安全協会をはじめ、各関係機関との連携を強化	

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		2,467	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	2,467	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	2,829	2,240	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	2,829	2,240

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																				
	・「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い」等の開催 ・関係機関・団体、地域等と連携した撲滅キャンペーン等の実施 ・「飲酒運転撲滅宣言の店」の拡充、撲滅ポスターの掲示拡大 ・各種広報媒体を活用した広報啓発の実施	・飲酒運転の撲滅(ゼロ)に賛同する人が増加 ・「飲酒運転撲滅宣言の店」が増加、撲滅ポスターの掲示拡大	飲酒運転は犯罪であることが社会的に認識される。	飲酒運転がなくなる。																																																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">交通安全教室等の受講者数</td> <td>目標</td> <td>130,000</td> <td>140,000</td> <td></td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>106,954</td> <td>108,972</td> <td>149,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>82.3%</td> <td>77.8%</td> <td></td> <td>149,000</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	交通安全教室等の受講者数	目標	130,000	140,000		R2年度	実績	106,954	108,972	149,000		達成率	82.3%	77.8%		149,000	目標				R年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">飲酒運転事故の発生件数</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>R2年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	飲酒運転事故の発生件数	目標	0	0		R2年	実績	41	39	0		達成率	-	-		0	目標				R年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																																	
H30年度		R1年度	R2年度		最終年度																																																																																			
交通安全教室等の受講者数	目標	130,000	140,000		R2年度																																																																																			
	実績	106,954	108,972	149,000																																																																																				
	達成率	82.3%	77.8%		149,000																																																																																			
	目標				R年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																				
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																			
飲酒運転事故の発生件数	目標	0	0		R2年																																																																																			
	実績	41	39	0																																																																																				
	達成率	-	-		0																																																																																			
	目標				R年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	スポーツコミッション	
所管課	市民局スポーツ推進部 スポーツ推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 「国際スポーツ都市宣言」に基づき、スポーツを通じたまちづくりを進めており、これまでの国際スポーツ大会で培われたハード・ソフト・ホスピタリティなどを有効活用し、国際スポーツ大会等を招致、開催することにより、さらなる市民スポーツの振興推進や、本市の国際的知名度の向上を図る。
開始年度	平成19年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	5-5-1	○福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合 (H34年度目標値: 83%)	
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興			
事業群	国際スポーツ大会等の開催地・合宿地としての誘致・支援			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・国内外のスポーツ関係団体等 ・市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	国際スポーツ大会等開催地、事前合宿地の招致・支援を行うことにより、市民が一流のスポーツに触れ、交流できる機会が増えるなど、市民スポーツの振興が推進されるとともに、本市の知名度向上や参加者・観光客増加による経済波及効果ももたらされる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	1 世界フィギュアスケート国別対抗戦2019 日程:平成31年4月11日～14日 場所:マリンメッセ福岡 概要:世界ランキング上位6ヶ国が出場するフィギュア最強国決定戦 事業:大会招致・大会補助・市民観戦招待事業 備考:東京都以外での開催は福岡が初めてとなる大会
	2 FIVBワールドカップバレーボール2019男子福岡大会 日程:令和元年10月1日～6日 場所:マリンメッセ福岡 概要:オリンピック・世界選手権と並ぶ世界3大会の1つ 事業:大会補助
	3 国際大会等の事前合宿支援 ・世界水泳2019 日程:令和元年7月10日～18日 場所:アクション福岡 ・世界柔道2019 日程:令和元年8月19日～24日 場所:福岡市総合体育館 ・2019女子ハンドボール世界選手権大会 日程:令和元年11月20日～29日 場所:福岡市総合体育館

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	40,000		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	40,000	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳入	歳出合計	8,924	24,965
	特定財源	516	0
	一般財源	8,408	24,965

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)				
	・新規国際スポーツ大会や全国レベルの大会の招致、開催支援を行う。 ・国際スポーツ大会等の事前合宿地としての招致、支援を行う。 ・JOCパートナー都市協定に関する事業を行う。	・国際スポーツ大会や全国レベルの大会が開催される。 ・近隣地域で国際スポーツ大会等が開催される際に、事前合宿地として利用される。 ・大会開催や合宿地の受け入れにあたっては、市民との交流事業等が実施される。	・市民がトップレベルの競技を間近に見る機会や、選手と交流する機会が増える。 ・大会等の参加者やそれを目的とした観光客が福岡を訪れ、「福岡」を認知するとともに消費活動を行う。	・市民スポーツの振興が推進され、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。 ・「国際スポーツ都市」としての都市ブランド力が向上される。 ・本市を訪れる観光客等が増え、経済効果				
	指標の内容	実績	目標	実績	目標			
	活動の指標	年度 H30年度	R1年度	R2年度	最終年度 R4年度	年度 H30年度	R1年度	R2年度
	目標 R 年度				目標 R 年度			
	実績 達成率				実績 達成率			
	目標 R 年度				目標 R 年度			
	実績 達成率				実績 達成率			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	世界水泳選手権福岡大会開催等準備	
所管課	市民局世界水泳準備担当	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
「国際スポーツ都市宣言」に基づき、スポーツを通じてまちづくりを進める中、2022年に世界水泳選手権及び世界マスターズ選手権を開催することで、市民スポーツの振興や本市の都市ブランド力向上を図る。		

基本計画			
施策コード	主	5-5-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興		
事業群	国際スポーツ大会等の開催地・合宿地としての誘致		
施策成果指標	○福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合 (H31年度: 77.7%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民 観戦客, 参加者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・大会を盛り上げるとともに、会場に来場し世界のトップアスリートの競技を間近でみる。 ・併催されるマスターズへの参加やボランティアとして大会に参加してもらう。 ・国内外から大会観戦やマスターズ大会参加を呼び込み、福岡に多くの方が訪れる。

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○大会組織委員会及び実行委員会等の開催 ○大会基本計画策定 ○国際水泳連盟や日本水泳連盟などの関係団体等と協議 ○大会PR ○大会エンブレム, マスコットの制作・発表 ○東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協定締結

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	1,460,640	
歳入	特定財源	1,000,483
	一般財源	460,157
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	574,000	4,466,381
歳入	特定財源	0 3,581,539
	一般財源	574,000 884,842

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)
	・大会の開催準備 ・大会周知, 気運醸成活動	・21年ぶり2回目となる大会が開催される。(2回目の開催はアジア初) ・国内外のスイマー, 水泳ファンに大会の周知が図られ, 開催気運が高まる。 ・チケットの購入や, マスターズ大会やボランティア参加申込が進展する。 ・福岡市が国際スポーツ都市として認知される。	・競技観戦やマスターズ参加, ファンゾーンへの集客により, 50万人が来場する。 ・テレビ放送等を通じて, 福岡市での大会が世界中に放映される。 ・市民が国際スポーツ大会を直接間近で観戦する。 ・ボランティアを通じて市民が大会に参画する。	・市民スポーツの振興が推進され, 青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。 ・「国際スポーツ都市」としての都市ブランド力やシビックプライドが向上する。 ・本市を訪れる観光客が増え, 経済効果もたらされる。
	指標の内容	実績	実績	実績
	活動の指標	年度 目標 実績 達成率	H30 R1 R2 最終年度 R3年度	年度 目標 実績 達成率
	目標 実績 達成率		目標 実績 達成率	R3年度 R4年度
			大会認知度(福岡県内)	82.0% 83.0% 40.0% 80.0%

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	2019日本陸上競技選手権大会開催支援	
所管課	市民局スポーツ推進部スポーツ事業課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 日本陸上競技選手権大会招致により2019大会の開催が決定したため
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	5-5-1	○福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合(H34年度目標値:83%)	
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興			
事業群	国際スポーツ大会等の開催地・合宿地としての誘致			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・陸上競技団体等 ・市民
	対象をどのような状態にしたいのか 国内最高レベルの陸上競技選手権大会の開催・支援を行うことにより、市民が一流のスポーツに触れ、交流できる機会が増えるなど、市民スポーツの振興が推進されるとともに、本市の知名度向上や参加者・観光客増加による経済波及効果ももたらされる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 1. 大会負担金の支出 主催者(日本陸連)が定める本大会の大会開催要項に従い、開催自治体としての負担金(①開催都市負担金、②仮設物として開催自治体が準備すべき大型ビジョン、プレスルームなど大会運営のための設備費用)を、県・市が折半の上、支出した。 2. 「キッズデカスロンチャレンジ&親子ペア観戦招待」への市民招待 大会(2019年6月27日～6月30日)の4日目(6月30日(日))において、主催者が企画したサブイベント「キッズデカスロンチャレンジ&親子ペア観戦招待」に、市内在住の小学3～6年生およびその保護者40組80名を招待する枠を得た。こどもは選手と同じフィールドで走る跳ぶ等の体験をし、その後、親子で大会競技を観戦する機会となった。
----------	--

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	40,047	
歳入	特定財源	0
	一般財源	40,047
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	48,407	0
歳入	特定財源	4,800 0
	一般財源	43,607 0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・国内最高レベルの陸上競技選手権大会となる同大会の開催に向けた施設整備・備品調達などを行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・国内最高レベルの陸上競技選手権大会が開催できる。 ・他の大規模大会や国内外からの合宿地の受け入れが可能になる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市民がトップレベルの競技を間近に見る機会や、選手と交流する機会が増える。 ・大会等の参加者やそれを目的とした観光客が福岡を訪れ、「福岡」を認知するとともに消費活動を行う。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・市民スポーツの振興が推進され、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。 ・「国際スポーツ都市」としての都市ブランド力が向上される。 ・本市を訪れる観光客等が増え、経済効果がもたらされる。																																																																																						
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">大会開催に向けた施設改修</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>-</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	大会開催に向けた施設改修	目標	100.0	100.0	-	R 年度	実績	100.0	100.0	-	-	達成率	100.0%	100.0%	-	-		目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">スポーツ観戦の機会への評価</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>増加</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>76.8%</td> <td>77.7%</td> <td></td> <td>83.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	スポーツ観戦の機会への評価	目標	-	-	増加	R4年度	実績	76.8%	77.7%		83.0%	達成率	-	-				目標				R 年度		実績						達成率			
指標の内容	年度	実績			目標																																																																																					
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																					
大会開催に向けた施設改修	目標	100.0	100.0	-	R 年度																																																																																					
	実績	100.0	100.0	-	-																																																																																					
	達成率	100.0%	100.0%	-	-																																																																																					
	目標				R 年度																																																																																					
	実績																																																																																									
	達成率																																																																																									
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																						
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																					
スポーツ観戦の機会への評価	目標	-	-	増加	R4年度																																																																																					
	実績	76.8%	77.7%		83.0%																																																																																					
	達成率	-	-																																																																																							
	目標				R 年度																																																																																					
	実績																																																																																									
	達成率																																																																																									

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	アビスパ福岡支援		
所管課	市民局スポーツ推進部 スポーツ推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成7年度		アビスパ福岡が広く市民、地域に支えられる市民球団として自立し、定着できるように支援する。サッカーを通じた豊かなスポーツ文化の振興と青少年の育成を図ることにより、市民スポーツの振興を推進する。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	5-5-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興		
事業群	プロスポーツの振興		
施策成果指標	○福岡市を活動拠点とするプロスポーツチームなどの主催試合観客数(H34年度目標値: 39万人) ○福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合(H34年度目標値: 83%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・市民 ・アビスパ福岡
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・市民が、試合観戦やアビスパ福岡のホームタウン活動を通して、一流のスポーツに触れ、交流できる機会が増える。 ・多くの市民や企業、団体が、アビスパ福岡を誇りに思い、積極的に支援することで、アビスパ福岡の経営基盤が安定し、自立が図られる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①観戦招待事業(小中高生とその保護者をホームゲームに招待)
	②少年少女サッカー教室(幼児、小中学生の団体を対象としたコーチによるサッカー指導)
	③親子サッカー教室(小学生とその保護者を対象とした選手・コーチによる教室)
	④心の教育プロジェクト(市内小学校での選手・コーチによる特別授業)
	⑤アビスパ健康教室(およそ60歳以上を対象とした運動啓発教室)
	⑥スポーツ大会等広告看板掲出(ホームゲーム時に掲出)
	⑦ブラインドサッカー教室(小学生以上を対象としたコーチおよびブラインドサッカー選手による体験教室)

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	88,146
歳入	特定財源	0
	一般財源	88,146
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	
歳出合計	85,779	88,146
歳入	特定財源	423
	一般財源	85,356

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・観戦招待事業、少年少女サッカー教室、親子サッカー教室、心の教育プロジェクト、アビスパ健康教室、スポーツ大会等広告看板掲出、ブラインドサッカー教室の実施 ・アビスパ福岡の周知・広報	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・市民のアビスパ福岡への関心が高まる ・市民がアビスパ福岡の試合を見に行く ・市民のスポーツへの関心が高まる ・青少年の健全育成が図られる	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市民がファン、サポーターとなる ・アビスパ福岡の試合観客数が増加する ・アビスパ福岡の経営基盤が安定する	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・アビスパ福岡が市民の財産となる。 ・アビスパ福岡の活躍により、市の知名度、集客力が向上する。																																																																																	
	→	→	→	→																																																																																	
	活動の指標	成果の指標(KPI)	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">各教室の実施件数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">128</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">128</td> <td style="text-align: center;">128</td> <td style="text-align: center;">128</td> <td style="text-align: center;">128</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各教室の参加者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">6,751</td> <td style="text-align: center;">6,500</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	各教室の実施件数	目標	-	-	128	R4年度	実績	128	128	128	128	達成率	-	-	-	-	各教室の参加者数	目標	-	-	-	R4年度	実績	6,751	6,500	-	-	達成率	-	-	-	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スポーツ観戦の機会への評価</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">83.0%</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">76.8%</td> <td style="text-align: center;">77.7%</td> <td style="text-align: center;">83.0%</td> <td style="text-align: center;">83.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プロスポーツチームなどの主催試合観客数(福岡ソフトバンクホークスを除く)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">361千人</td> <td style="text-align: center;">280千人(見込)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">390千人</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	スポーツ観戦の機会への評価	目標	-	-	83.0%	R4年度	実績	76.8%	77.7%	83.0%	83.0%	達成率	-	-	-	-	プロスポーツチームなどの主催試合観客数(福岡ソフトバンクホークスを除く)	目標	-	-	-	R年度	実績	361千人	280千人(見込)	-	-	達成率	-	-	-
指標の内容	年度			実績		目標																																																																															
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
各教室の実施件数	目標	-	-	128	R4年度																																																																																
	実績	128	128	128	128																																																																																
	達成率	-	-	-	-																																																																																
各教室の参加者数	目標	-	-	-	R4年度																																																																																
	実績	6,751	6,500	-	-																																																																																
	達成率	-	-	-	-																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																	
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
スポーツ観戦の機会への評価	目標	-	-	83.0%	R4年度																																																																																
	実績	76.8%	77.7%	83.0%	83.0%																																																																																
	達成率	-	-	-	-																																																																																
プロスポーツチームなどの主催試合観客数(福岡ソフトバンクホークスを除く)	目標	-	-	-	R年度																																																																																
	実績	361千人	280千人(見込)	-	-																																																																																
	達成率	-	-	-	390千人																																																																																

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	女性活躍推進事業	
所管課	女性活躍推進課 事業推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か ○企業等における人材の多様性を確保することが不可欠となっており、女性がその個性と能力を十分に発揮することが一層重要となっている。 ○女性のライフスタイルに応じたキャリアアップを支援するとともに、企業の女性活躍推進の取組を進める必要がある。 ○誰もが働きやすく、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境づくりを進めていく必要がある。
開始年度	平成27年度	
根拠法令	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律	
行政計画	福岡市働く女性の推進計画	

基本計画				事業区分	重点
施策コード	主	7-5-2			
	再	1-2-2	6-5-1		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している				
施策	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり				
事業群	女性の活躍の場づくり				
				企業における女性管理職比率	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・市内企業(経営者・人事労務担当者・社員) ・企業で働く女性 ・再就職等を目指す女性
	対象をどのような状態にしたいのか ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定や「見える化サイト」登録で、企業の女性活躍が推進される。 ・女性の能力が向上し、職場における女性リーダーが増える。 ・再就職等を希望する女性が能力を十分に発揮しながら、いきいきと働き続けることができる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○一般事業主行動計画策定支援セミナー&個別訪問の実施(主に従業員101人以上300人以下の企業対象) ○企業における女性活躍への取組の「見える化」の充実 「ふくおか女性活躍NEXT企業 見える化サイト」企業インタビューの追加申請の簡易化のため要綱の見直し 掲載登録の個別郵送依頼 ○女性活躍推進講演会の開催 ○社会貢献優良企業の優遇措置 ○女性リーダー育成研修の実施 ○女性の就職支援セミナーの実施 ○女性の起業支援セミナーの実施
----------	--

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	8,660		
歳入	特定財源	3,348	
	一般財源	5,312	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	6,849	6,875	
歳入	特定財源	2,969	2,211
	一般財源	3,880	4,664

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・中小企業向けの計画策定支援セミナーやワーク・ライフ・バランスを推進するセミナーを実施 ・「見える化サイト」登録の促進や活用する求職者を増加させるため、個別依頼や周知 ・女性リーダー育成のためのセミナーを実施 ・再就職等を希望する女性向け実践セミナー等を実施	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・企業の人事労務担当者が、計画策定の意義や方法を理解し、一般事業主行動計画を策定する企業が増加する。 ・企業の人事労務担当者が女性活躍の取組を「見える化」することのメリットを理解し、サイトへ登録する企業が増加する。 ・リーダーとして働く上での知識を身につける。 ・再就職等に必要な知識等を身につける。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・働き方の見直しなど企業におけるワーク・ライフ・バランスが推進する。 ・男女ともに働きやすい職場環境づくりが整い、女性の活躍が推進する。 ・女性の能力が向上し、職場における女性リーダーが増える。 ・再就職等する女性が増える。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・企業における女性の管理職登用が進み、働きやすい職場環境が生まれ、男女がその能力を十分に発揮することで、市内の企業活動が活性化し、活力のあるまちとなる。 ・女性人口が多い本市においては、働く意欲を持つ女性人材を活用することで、多様性に富んだ持続可能なまちとなる。		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標		
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		「見える化サイト」掲載企業数	248	269	270	270
		達成率	98.4%	97.0%		
	指標の内容	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	企業における女性管理職比率 (H26年度実績値10%)	目標	-	12.0%	12.0%	12.0%
		実績	-	11.3%		
		達成率	-	94.2%		
		目標				R年度
		実績				
		達成率				